

# 週刊センターニュース No.156



第156号(2007年4月30日)毎週月曜日発行  
発行：金沢大学 大学教育開発・支援センター  
URL：[http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou\\_rche/index.htm](http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/index.htm)

## 第148回共同学習会のご案内

日時：2007年5月10日(木)16時30分～18時

場所：角間キャンパス総合教育棟南棟2階会議室

報告者：西山宣昭(大学教育開発・支援センター)

テーマ 「インターンシップ推進フォーラム2007参加報告」

趣旨：文部科学省主催で開催された標記フォーラムの内容について報告する。本学工学部、名古屋工業大学の取組の報告に加え、横浜国立大学、立教大学と提携してインターンシップ受け入れを行っている企業担当者からの報告もあった。本学では来年度の3学域化に合わせて実施されるキャリア形成教育プログラムについて教育企画会議の下のキャリア教育部会で検討が進んでおり、本報告が参考になることを期待したい。

## インターンシップ推進フォーラム参加報告

3月15日に文部科学省の主催で開催された「インターンシップ推進フォーラム2007」に参加したので報告する。本学では来年度からの3学域化に合わせてキャリア形成教育プログラム(仮称)が実施される予定であり、現在教育企画会議の下のキャリア教育部会でプログラム編成について詰めの検討が行われている。その中には3年次前期の正課の科目としてインターンシップが予定されている。本学では一部の学部、大学院専攻ですでにインターンシップの実績があり、そのノウハウの活用が期待できる。

表記フォーラムでもいくつかの大学でのインターンシップの事例が紹介された。金沢大学と名古屋工業大学が文部科学省より受託した「派遣型高度人材育成協同プラン」の取組について報告があった。本学の自然科学研究科の大谷吉生教授より「分野混成チーム派遣によるモノづくり教育 消費者の立場で商品開発に携わる高度人材育成」について、また名古屋工業大学の人材育成マネージャーの松井照幸氏より「技術の市場化を実現する産学連携教育～産学共通プラットフォームでの双方向インターンシップ」について報告された。本学の場合は、研修テーマについては押しつけるのではなく、テーマについて企業担当者、学生、担当教員との間で十分に議論するための事前教育に当たる科目が設定されていること、プロジェクト名にも表れているとおり学生の専攻外分野を体験させ学際的視点の養成を重視している点が特徴であり、学生の自主性を引き出そうとする優れた取組である。一方、名古屋工業大学の場合は、大学側の実施母体が技術経営を主たる教育内容とする大学院工学研究科産業戦略工学専攻(テクノビジネススクール)ということもあり、企業での実践的な研究開発の現場を体験させて技術者としてのモチベーションを高めるというよりも、企業での研修を技術経営、知的財産に関する教育の一環と位置づけており、当該インターンシップは知的財産教育、知財検定2級受験とセットとなり、「企業創造演習(4単位)」、「企業創造演習(4単位)」の単位認定の要件となっ

ている。

名古屋工業大学の事例に基づき大まかなインターンシップの時間的流れを紹介する。

#### 1. 協定書の締結

インターンシップは名古屋工業大学とコア企業3社、協力企業8社からなる産学連携教育コンソーシアムが実施母体となる。まず、大学企業間での産学連携教育コンソーシアム規約に基づき学長と派遣受け入れ企業代表者との間で「長期インターンシップ協定書」及び「守秘義務契約書」が締結され、同時に指導教員、学生、企業指導担当責任者の間でも「守秘義務契約書」が締結される。

#### 2. テーマの決定

指導教員、学生、企業担当責任者の間で研修テーマの設定、権利の帰属などについて決定される。

#### 3. 事前教育

オリエンテーションとともに、「知的財産と守秘義務」や「工業倫理」などの授業を受講させ、知財検定2級模擬試験で一定の成績を収めた学生を企業に派遣する。

#### 4. 企業現場研修

企業での研修期間においても、大学側の教員を企業に、企業の指導者を大学に派遣し、派遣学生のサポートを大学と企業現場とで行う。

#### 5. 事後教育

成果発表、報告書作成とともに特許出願の指導、知財検定2級受験対策を行う。

以上、名古屋工業大学の事例について紹介したが、5月10日（木）の当センターの第148回共同学習会では、本学自然科学研究科の事例も含め、他大学のインターンシップの事例について資料に基づき紹介する予定である。（文責 大学教育研究開発部門 西山宣昭）

### センターの研究成果を、学会で報告します

日本高等教育学会第10回大会（担当校：名古屋大学）

日時：2007年5月26日（土）、27日（日）

場所：名古屋大学（名古屋市千種区不老町）

自由研究発表 自由研究発表 第3部会 教員組織（5月26日 10:00 - 12:00）

タイトル：「教員組織改革の現状と方向性

- 文科省委託アンケート調査の専門分野別分析をてがかりに - 」

報告者：早田幸政・西山宣昭・堀井祐介・渡辺達雄（いずれも金沢大学）

本学が委託を受けました、文部科学省の「先導的・大学改革推進委託」研究事業「今後の大学像のあり方に関する調査研究：教員の所属組織」は、皆様のご協力を賜り、調査研究（最終）報告書の刊行にいたしました。その成果を当該学会で発表し、関係者の便宜に供したいと考えております。

今回の学会の詳細スケジュールについては、<http://www.cshe.nagoya-u.ac.jp/jaher2007/>でご覧いただけます。関心をお持ちの方々の積極的な参加を希望します。

### 角間ランチョンセミナー

5月は、「国際交流月間」（7日～31日）として、様々な話題・情報をお届けいたします。

詳しくは、[http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou\\_rche/luncheonhp/schedule.htm](http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/daikyou_rche/luncheonhp/schedule.htm)をご参照下さい。